

## 勉強の時間をつくりましょう

家庭学習で、子どもたちに「自ら学ぶ力」を育てましょう。

そのために家庭では

### 子ども自身の「やる気」を大切にしましょう

子どもは、「なぜだろう。」「ちょっとおもしろそうだ。」「変だな。」という気持ちから、学習に興味をもちます。このような気持ちを大切に受け止めて、励ましてください。

### 勉強の時間を決めましょう

各家庭に合った生活時間のなかで、勉強する時間を決めたいものです。その時には、子どもが自分で決めるようにさせたいものです。約束を守ること、自分で決めたことを貫き通す力を育てることも大切です。



### 低学年では、やる気を伸ばしましょう

低学年の子どもは、「何でもやれるよ。できるよ。」と言うことがよくありますが、実際にはなかなか一人でやるのが困難です。したがって、保護者の協力は欠かせません。やる気を失わない温かい助言や励ましを与えて、次へのやる気を育てましょう。

#### ポイント

宿題のやり方など、丁寧に教えてあげましょう。  
親子で楽しく学習する体験をさせましょう。  
できるだけ短い時間で学習させましょう。

### 中学年では、自立の芽を大切に育てましょう

中学年になると、何とか自分で決めて行動をしようとする気持ちをもち始めます。しかし、その反面なかなか自分への甘えを克服できない時期でもあります。ですから、子どもの葛藤を知り、温かく見守ってやったり、ちょっと手助けしてやるなど保護者の心の余裕も必要です。

#### ポイント

勉強の内容が徐々にむずかしくなります。どんなことをやっているのか子どもに聞いて、声をかけましょう。  
自力で取りくもうとする姿勢を積極的に励ましましょう。

### 高学年では、子どもの自主性を大切にしましょう

高学年になると、学習に対して、自分なりの見方、考え方もち始めます。思春期を迎えようとしている子どもたちだけに自尊心も一層強くなります。ですから、自分なりに選択したり、工夫していることを大いに認めて、意欲的に取り組めるようにしましょう。

#### ポイント

自分の学習目標をしっかりと持たせましょう。  
自分のペースでじっくり取り組ませましょう。

成長に応じたかかわり方を心がけましょう

子どもの「やる気」を感じとり、  
ほめたり、励ましたりしながら  
「自ら学ぶ力」を育てましょう。